

## チリ 生食用ブドウの輸出予測は新品種が急伸、総量は減少

[The Grape Reporter 2025年12月5日](#)

チリの全国ブランド Frutas de Chile(果実輸出業者協会)傘下のチリ生食用ブドウ委員会は、**2025-26年度シーズン**の輸出予測を更新し、総量を**6,360万箱超**(18ポンド(約8.2kg)/箱)とした。これは前年実績に対して**6.4%の減少**となるが、初回予測と比べると**わずか0.5%増**でありほぼ一致している。

同委員会のイグナシオ・カバジェロ事務局長は、新品種の増加が今年の成長を牽引していると説明し、「総出荷量のうち**新品種は72%に達する**と予想しており、これは昨シーズンの67%及び初回予測の71%を上回る。今回の更新予測は、昨シーズンの総輸出量の86%を占める生産者のデータを反映している」と述べた。

**品種更新が生食用ブドウの成長を推進** Frutas de Chile は、同国の輸出期間の終了時点で新品種が4,500万箱を超えると予測している。新品種の中で先頭に立つのは**スイートグローブで700万箱強**に達し、昨シーズンに比べて**30%超の増加**、同委員会の初回予測に比べて17%の増加を示している。これに次ぐ**オートムクリスプは600万箱超**に達し、前年比で**33%増**、初回予測に比べて19%増となっている。

従来品種(レッドグローブを含まない)は合計800万箱超に達するが、多くの品種が大幅に減少している。**トンブゾンシードレス**はこれに該当し、2024年比で**20%超の減少**となり、わずか150万箱程度にとどまる。これは初回予測に比べて37%の劇的な減少となる。チリ市場のもう1つの従来品種である**レッドグローブ**はほぼ横ばいで、**900万箱超**と予測されるが、それでも初回予測との比較では**5%近くの減**となっている。

**課題と市場の再編** チリの生食用ブドウの輸出量は昨シーズンとは様相が異なり、中南米市場が20%拡大すると予測される一方、**アジア市場は21%減**、**北米市場は9%減**と見込まれる。カバジェロ氏は、「新品種の成長は依然として我々の産業を前進させる原動力であり、国際市場により良い果実を提供することを可能にしている」と語った。同氏は、今シーズンのチリの輸出業者の課題は出荷の物流管理にあると説明し、今シーズンは第6～10週(1月末～3月初め)に昨年より果実が多く、第14～17週(3月末～4月下旬)は少ないと述べた。

## トルコ 今シーズンのザクロ生産量は35%減と推定

[FreshPlaza 2025年12月8日](#)

トルコの青果物輸出業者テュメン農産の輸出マネージャーであるケレム・バルトゥ氏によると、今シーズンのトルコ産ザクロの生産量は、シーズン前の予想どおり、過去数シーズンよりも少なくなる見込みである。「今年の生産量は前年に比べて**35%減と推定**され、2023年シーズンと比べて最大50%減少すると予想される。この減少の主な要因は、3月及び4月に数回発生した寒波、さらに夏を通じて続いた高温と水不足であり、これらが果樹、花、果実の生育に悪影響を及ぼしたためである。」(同氏。以下同じ)

同氏は、競合国も同様に課題に直面していると説明する。「これらの困難はトルコ特有のものではなく、他のザクロ生産国でも同様の問題が発生した。イタリアでは収穫期の過剰な降雨により生産性が大幅に低下し、ギリシャではサイズと品質に深刻な問題が生じ、スペインでも同様の品質問題が発生し、収量が減少した。」

バルトゥ氏によると、これまでに収穫されたザクロは品質が良好であり、これが需要の増加につながっている。「これらの困難にもかかわらず、2025年シーズンにトルコで収穫されたザクロの品質は外皮と色の点で過去数年を上回る水準に達した。その結果、トルコ産ザクロの需要は顕著に増加した。通常はクリスマスシーズンにもっと近づいてから需要が高まるが、今年は早くも収穫開始時から需要が増加した。この傾向により、例年は3月中旬まで続く輸出・出荷の業務が、今シーズンは早期に終了すると予想される。」

同社は今シーズン、インフラへの投資を行い、供給能力も拡大した。「今年は貯蔵能力を25%増加させ、将来の生産性向上に伴う供給シェアの拡大を支える強固なインフラを整備した。今シーズン及び今後数年にわたり新たなザクロ供給事業への投資を継続する予定だ。今シーズンの主な目標は、取引先が市場シェアを維持及び拡大できるよう、総生産量が減少している中でも安定的な供給を続けることである。」

執筆者: ニック・ピーターズ (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)